

「在宅医療・介護への円滑な移行のための退院支援ワークショップ」 実施要領

【目的】

- ① 医療・介護職が関与する「退院支援」の事例から、各分野におけるシステムや認知・コミュニケーションおよび地域特性に基づいた課題の抽出
- ② 多職種連携を更に構築するために、必要な再審の知見の修得

【テーマ】 在宅医療・介護への円滑な移行のための退院支援

【ねらい】 医療機関及び介護施設等との連携において情報交換を行っているが、双方の理解が食い違い、介護職からの視点での懸念や課題の残る事例が発生することがある。

- 日頃、連携をとる中で戸惑ったこと、困ったこと、「こうすればよかった」「こうして欲しかった」「こんな情報が欲しかった」など情報交換に潜む問題と感じた、疑問をもった体験事例を出し合うことで、患者・利用者の退院支援における実態を共有し、検討課題に対する感受性を高める。
- 実際の活動における気づきを出し合い、課題を抽出する。
(情報伝達のシステム、認知、コミュニケーション、地域特性など)
- 課題から「どうすればよかったか」「実際に工夫している取り組み」を話し合い、情報共有や方策を考えだす。
- 良好事例から「上手く行った」ポイントを話し合い、情報共有と各施設での活用を検討する。
- 最新の知見から在宅医療・介護連携における気づきを高め、問題を整理する。

【プログラム】

- 13:10 受付
- 13:30 開会
- 13:40 「地域包括ケアとは」 近畿厚生局地域包括ケア推進課 課長 吉森茂文
上席地域包括ケア推進官 河本慶子
- 14:00 グループワーク① 過去1年間で経験した危険な事例や困った事例、良好な事例の共有
- 15:10 休憩 (10分)
- 15:20 グループワーク② ディスカッションとまとめ、発表の準備
- 16:00 各グループ発表
- 16:45 「良好な多職種間のコミュニケーション構築について～エッセンスと最新の知見を含め～」 奈良県立医科大学公衆衛生学講座 岡本左和子
- 17:30 閉会